

みずほCustomer Desk Report 2022/02/24号 (As of 2022/02/22)

市場営業部 為替営業第二チーム

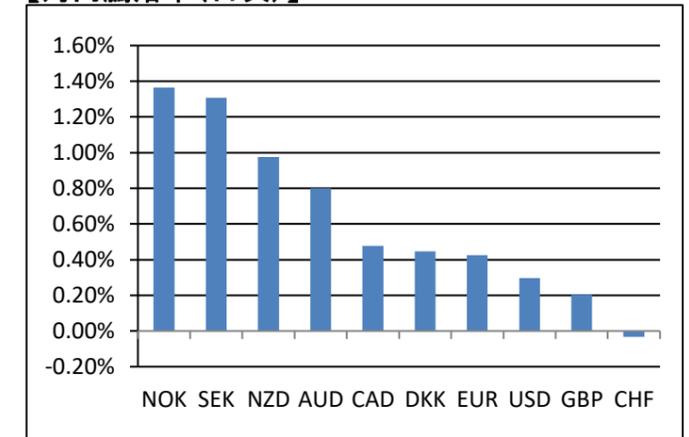
【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	114.78
TKY 9:00AM	114.62	1.1310	129.62	GBP/USD	1.3594
SYD-NY High	115.24	1.1367	130.76	AUD/USD	0.7186
SYD-NY Low	114.50	1.1288	129.36		
NY 5:00 PM	115.06	1.1326	130.33		
NY DOW	33,596.61	▲ 482.57	日本2年債	-0.0300	▲ 1.00bp
NASDAQ	13,381.52	▲ 166.55	日本10年債	0.1900	▲ 2.00bp
S&P	4,304.76	▲ 44.11	米国2年債	1.5605	9.29bp
日経平均	26,449.61	▲ 461.26	米国5年債	1.8669	4.88bp
TOPIX	1,881.08	▲ 29.60	米国10年債	1.9434	1.74bp
シカゴ日経先物	26,660	▲ 205	独10年債	0.2405	4.35bp
ロンドンFT	7,494.21	9.88	英10年債	1.4705	6.85bp
DAX	14,693.00	▲ 38.12	豪10年債	2.1870	▲ 0.80bp
ハンセン指数	23,520.00	▲ 650.07	USDJPY 1M Vol	6.70	▲ 0.48%
上海総合	3,457.146	▲ 33.47	USDJPY 3M Vol	6.80	▲ 0.37%
NY金	1,907.40	7.60	USDJPY 6M Vol	7.00	▲ 0.37%
WTI	91.91	1.70	USDJPY 1M 25RR	-1.18	Yen Call Over
CRB指数	267.13	3.50	EURJPY 3M Vol	8.70	▲ 0.20%
ドルインデックス	96.03	▲ 0.05	EURJPY 6M Vol	8.64	▲ 0.11%

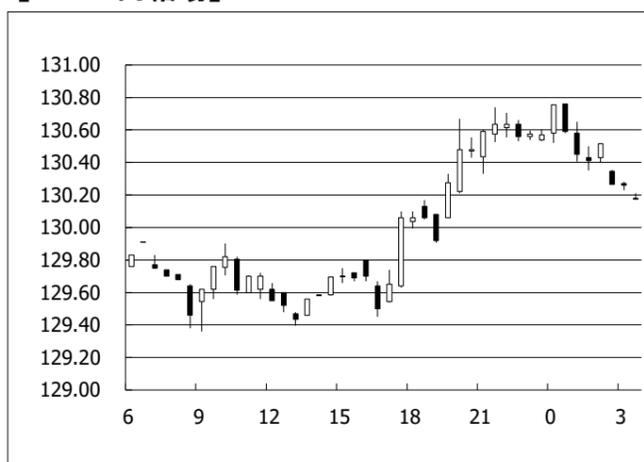
【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



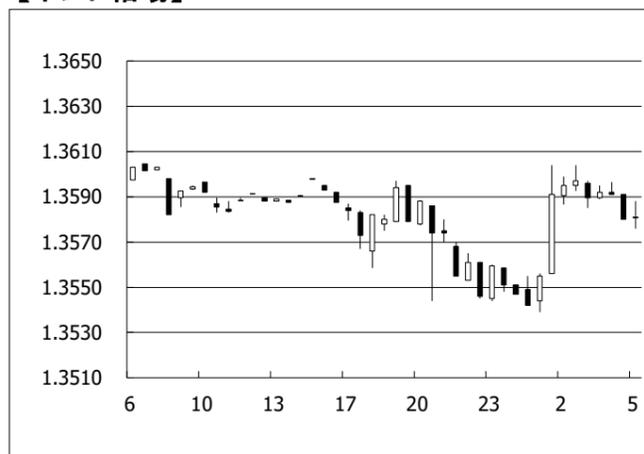
【ユーロ円相場】



【ユーロドル相場】



【ポンド相場】



【豪ドル相場】



東京	朝方のプーチン大統領がウクライナの親ロシア派2州を独立国として承認したという報道を受けて情勢が一層緊迫化し、オセアニア時間に一時114.50をつける。東京時間114.62レベルでオープン後は、仲値にかけて114.79まで上昇。ただその後は上値が抑えられる中、114円台後半で方向感のない値動きに終始し、114.75レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、114.75レベルでオープン。ウクライナ関連ヘッドラインを受けて上下に振れる展開。朝方は114.63まで売られるも、「噂で買って事実で売る」動きなのか、ロシアが欧米制裁懸念にも関わらずガス供給を続ける姿勢をみせたためか定かではなかったが市場全体に巻き戻しが入り、ドル円は115.11まで戻し115.10レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外時間のドル円は114円台後半でスタート。前日21日に「プーチン露大統領がウクライナ親露派地域の独立承認に署名」などのヘッドラインが伝わる中、ウクライナ情勢を巡る地政学リスクの高まりから円買い優勢となっており、一時114.50まで下落。しかし、米金利低下・米株安の流れが一巡するとドル円も下げ渋り、114.80近辺まで反発。その後、特段ヘッドラインなどは見当たらなかったが、リスクオフの円買いが巻き戻され早朝には115円台を回復し、115.10レベルでNYオープン。朝方はオープン前の流れを引き継ぎ、買い優勢の展開が継続。米2月PMIが予想を上回ったことも買い材料となり高値115.24をつける。しかし、ウクライナやロシア絡みのヘッドラインに対する警戒感が根強く更なる上値追いは限定的。その後、プーチン大統領がトランス地方への軍派遣承認を要請し、露上院も要請を承認したと伝わると再びリスクオフの流れが強まり、115円を割り込む。午後は米株の下げ幅拡大の動きを眺めながら安値114.88まで下押し。その後、バイデン米大統領が会見でロシアに対する追加制裁を発表するも、引き続き外交にはオープンであることを述べる中、会見後に115円台前半まで買い戻された。終盤は小動きとなり、結局115.06レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドル円は1.1300付近でもみ合いでスタート。欧州時間では独2月IFO企業景況感指数が予想を上回ったことからユーロが買い戻されたほか、リスクオフの流れが巻き戻され上昇したユーロ円にもサポートされ、一時1.1367まで上昇後、1.1351レベルでNYオープン。朝方はじり安推移が継続。ユーロ円の反落も重しとなり、安値1.1322をつける。バイデン大統領の会見後、ユーロ円の買い戻しに連れ高となり1.1340まで戻すも、終盤に小幅反落し、結局、1.1326レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。